

FORUM 開催事務局後記 [Looking back for ten years]

FORUM は 2003 年 7 月 19 日 (土) に記念すべき第 1 回目を「最近注目すべき感染症」というテーマで東京国際フォーラムにて開催したのが始まりです。

当時は斯界の専門家の先生方 10 数人で世話人会を組織し、冒頭にお言葉をいただいた山崎修道先生が代表世話人を務められ、第 6 回目からは猪狩淳先生にお願いしました。当初より感染症に関して、医師のみならずコメディカルや一般市民の方にも広く話題を提供するために企画され、あっという間に 10 年の月日が流れました。第 2 回目には早くも念願であった六本木アカデミーヒルズでの開催を実現することができ、スタッフ一同喜んだことを覚えています。その後は、参加される方々のアクセスの良さや会場の快適さを大切と考え、他の場所でも開催しています。

ほぼ毎年 7 月に開催しており、記録的な猛暑の中でもたくさんの方々にご参加いただきました。また、六本木ヒルズ内では固定案内板の設置が許可されないため、当社スタッフが屋外各所に立ち、熱中症（その頃はまだ熱射病といっていました）になりかけた者もいました。水分補給の必要性を痛感し、それ以後は必ずペットボトルを持って立つようになりました。また、当時はクールビズなどはなく、炎天下でスーツにネクタイ姿の案内スタッフに対し、通行人から「むさ苦しい」とクレームを付けられる一場面もあったようです。

この 10 年の間には、SARS や鳥インフルエンザなどが世間をにぎわしました。新型インフルエンザや多剤耐性菌問題などはまだ記憶に新しいところです。また、2011 年 3 月 11 日には東日本大震災により甚大な被害を被り、今なお復旧の途上にあります。被害に遭われた方には心よりお見舞い申し上げます。

テーマの選定には苦慮するところが多く、世話人の先生方や事務局担当者は大いに悩まれたことと思います。FORUM では常にホットな話題をいち早く取り上げ、皆様に正しい最新の情報を提供するため努力を続けてまいりました。

感染症の話題に特化した 10 年の節目を終え、来年からは他の分野にも拡大した“新 FORUM”を現在企画中です。ぜひご期待ください。

【担当者の談話 1】

数年前に右も左も分からないまま責任者になりパニック状態になりました。作業に見落としがないか心配で真夜中に前任の責任者の自宅に電話をかけて確認を行ったりして、今思うと迷惑だったろうと反省しています。世話人の先生方にもテーマ選定では本当にお世話になりました。また、運営会社の方にも 20 時までは必ず連絡が取れるようにと無理を聞いてもらっていました。未熟な自分に対し周りから多くのサポートをいただいたことは今でも忘れることなく本当に感謝しています。

FORUM がつつがなく終了した際には緊張感が解け、気が付いたら一人で夜景を見ながらポーツと煙草を吸っていました。感染症の勉強とともに、人との付き合い方も学べた今では良い思い出です。

【担当者の談話 2】

FORUM の歴史とともに事務局である学術部も時の流れにつれ変化していきました。FORUM 開催当時、毎日のように激論を交わし、想いを一つにしていたその苦労を知る人は、今や数多くはいません。FORUM が 10 年間成長し続けたことと同様に、私たち職員も職場を変え成長し続けています。私は第 1 回から参画している数少ないスタッフの一人ですが、今ではその職務は FORUM のリニューアルを第一線で考えるべき立場にあります。第 1 回から第 6 回までは、駅から会場までの道案内が私の FORUM での業務でした。案内係の先頭に立って案内板を手を持ち、炎天下の中“汗だく”になりながら、しかし笑顔で来場者が道に迷うことがないように会場まで案内していました。

熱中症になりかけたり、「むさ苦しい服装して働いているんじゃない!!」と見知らぬ若い女性に一喝されたのは実は私です。しかし、来場者をまず私の笑顔でお迎えできたことは、今では良い思い出となっています。

案内係の業務が終了した後、会場内が気になり、疲れた体に鞭打って確認すると、「お・お！満員だ」とスタッフとともにほっとしたことがまるで昨日のこのようです。第 9 回目からは開催の責任者としての重い任に就きましたが、会場が満席になり、多くの方々に聴講いただきたい、多くの方々が FORUM に満足して帰宅の途についてほしいという思いは第 1 回から今後も変わらぬことです。さらに多くの方々に聴講・満足いただける新生 FORUM を目指していく所存です。

返って 10 年を振り返る

講演 1

講演 2

講演 3

講演を
絞って

語句解説

FORUM 開催
事務局後記

最新
トピックス

連載
ダイエット

検査と私

医の提言

徒然なる
ままに。